

特記仕様書

○は、本工事該当を示す。

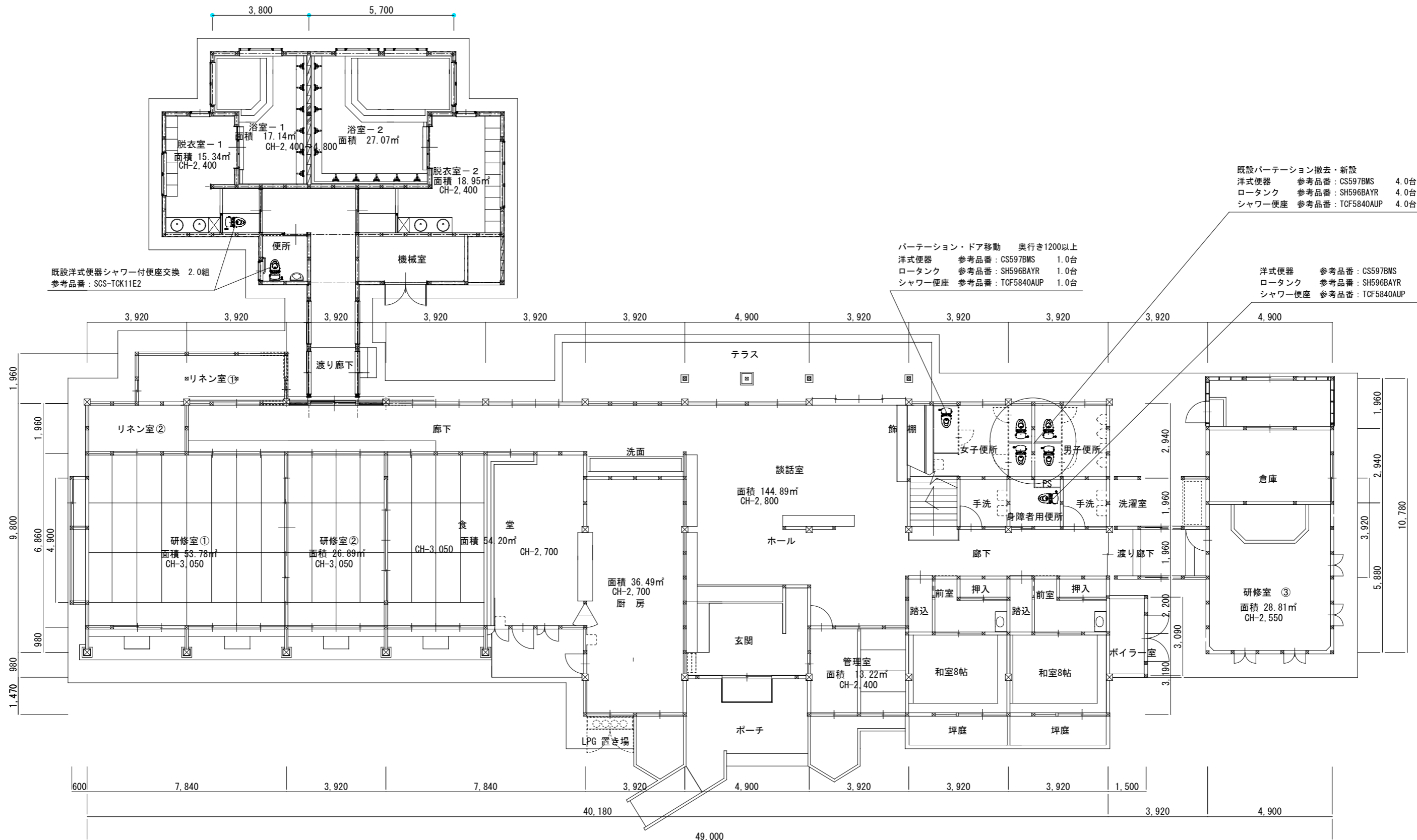
建物概要				工事概要										配管材料および保温材																																																																																															
工事名称 かさべるでトイレ洋式化工事 工事場所 広島県庄原市比和町比和165-1 工事種別 ・新築・増築・改築 主体構造 ・R C ・A L C ・耐火構造 ○木造 階数 地上 2階 地下 階 塔屋 階 面積 建物名称 延面積 (m ²) 備考 宿 泊 棟 658.72 浴 室 棟 112.24				給排水衛生設備工事 給水設備工事 給水方式 ・上水道 ○井戸 ・簡易水道 ・水道直結 ・高架水槽 ・圧力タンク 引込管 口径 mm 排水設備工事 排水方式 屋内 (汚水・雑排水) ・合流式 ○分流式 屋外 (汚水・雨水) ○合流式 ・分流式 放流管 ・下水本管 ・側溝 ・河川 接続管 口径 mm										空気調和設備工事 夏季 冬季 乾球温度 相対湿度 乾球温度 相対湿度 外気 ℃ % ℃ % 室内 ℃ % ℃ % 機器設備工事 熱源機器 冷凍機 ・ヒートポンプ・空冷・水冷 ・吸収式 ボイラー ・ヒートポンプ・空冷・ガス 燃料 ・灯油 ・A重油 空調機器 パッケージエアコン ・ヒートポンプ・空冷・水冷 ファンコイル ・床置 ・天井 ・カセット ユニット ・隠蔽 ・露出																																																																																															
追記事項				追記事項										給水管 塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) GW保温材 屋内外 塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) SUSラッキング GW保温材 屋内外 排水管 耐衝撃性塩ビ管 (HIVP) GW保温材 屋内 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) GW保温材 土中(屋外) 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) GW保温材 屋内 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) 土中(屋外) 通気管 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 給湯管 ステンレス鋼管 (SUS) GW保温材 ガス管 配管用炭素鋼管 (SGP-白) 屋内・屋外 ガス用ポリエチレン管 土中 冷媒管 冷媒用被覆鋼管 (メーカー標準品) スリムダクト ドレン管 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) GW保温材 屋内 保温付ドレンホース 屋内・屋外 換気ダクト スパイラルダクト (S-P) 火気使用場所 RW50mm																																																																																															
工事項目				衛生器具設備工事 衛生器具 ・TOTO ・LIXIL ○TOTO・LIXIL同等品 換気設備工事 換気方式 中央式 第1種 第2種 第3種 局所式 ・有圧扇 ・換気扇 ・天井扇 ・パイプファン 給湯設備工事 給湯方式 ・局所式 ・中央式 機器 ・温水器 ・瞬間湯沸器 ・ボイラー 熱源 ・ガス ・電気 ・油 ダクト設備工事 換気ダクトの板厚 矩形ダクトの場合(入力合計が18000kcal/hを超える) (単位mm) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>ダクトの長辺</th> <th>ステンレス鋼板</th> <th>亜鉛鉄板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>450を超え1200以下</td> <td>0.6以上</td> <td>0.8以上</td> </tr> <tr> <td>1200を超え1800以下</td> <td>0.8以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> <tr> <td>1800を超えるもの</td> <td>0.8以上</td> <td>1.2以上</td> </tr> </tbody> </table> 円形ダクトの場合(入力合計が18000kcal/hを超える) (単位mm) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>円形ダクトの寸法</th> <th>ステンレス鋼板</th> <th>亜鉛鉄板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>300を超え750以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>750を超え1000以下</td> <td>0.6以上</td> <td>0.8以上</td> </tr> <tr> <td>1000を1250以下</td> <td>0.8以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> </tbody> </table>										ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板	450以下	0.5以上	0.6以上	450を超え1200以下	0.6以上	0.8以上	1200を超え1800以下	0.8以上	1.0以上	1800を超えるもの	0.8以上	1.2以上	円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板	300以下	0.5以上	0.6以上	300を超え750以下	0.5以上	0.6以上	750を超え1000以下	0.6以上	0.8以上	1000を1250以下	0.8以上	1.0以上	シムボルト表 給水管 ⊗ ⊗ ゲート弁・止水栓 排水管 ∟ チャッキ弁 汚水管 M 量水器 通気管 GM ガスメーター 給湯送り管 □ 給水栓 給湯戻り管 ● 給湯栓 ガス管 ⊗ フラッシュ弁 消火管 ⊗ 混合水栓 連結送水管 ⊗ 排水目皿 冷却水送り管 ⊕ 床上掃除口 冷却水戻り管 ∟ 床下掃除口 冷水水送り管 ⊗ 排水共栓 冷水水戻り管 ⊗ 排水樹 温水送り管 雨水格子樹 温水戻り管 □ 汚水樹 膨張管 T トラップ樹 冷媒管 ⊕ ⊕ ガスコック ドレン管 ⊏ 屋内・屋外消火栓																																																																	
ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板																																																																																																											
450以下	0.5以上	0.6以上																																																																																																											
450を超え1200以下	0.6以上	0.8以上																																																																																																											
1200を超え1800以下	0.8以上	1.0以上																																																																																																											
1800を超えるもの	0.8以上	1.2以上																																																																																																											
円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板																																																																																																											
300以下	0.5以上	0.6以上																																																																																																											
300を超え750以下	0.5以上	0.6以上																																																																																																											
750を超え1000以下	0.6以上	0.8以上																																																																																																											
1000を1250以下	0.8以上	1.0以上																																																																																																											
一般共通事項 1. 設置図書の優先順位 本特記仕様書以外に下記の図書類により工事を施工する。 ただし、関連事項が相互間に相違する場合は、優先順位は下記の通りとするが、施工においては予め相違事項を提出し係員と協議の上決定する。 1) 質疑応答書 2) 現場説明事項 3) 特記仕様書 4) 設計図 5) 共通仕様書 ・日本建築家協会編共通仕様書 ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) ○公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)				ガス設備工事 ガスの種類 ・LPG ・都市ガス(ガス会社 TEL ()) 追記事項 消火設備工事 種類 ・屋内消火栓 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・連結送水管 ・泡消火 ・ハロゲン消火 追記事項 浄化槽設備工事 処理方式 ・単独処理 ・合併処理 (・FRP製 ・現場打) 人員・処理水槽 算定人数 人 処理水量 m ³ /日 放流水質 追記事項										自動制御設備工事 制御方式 ・電気式 ・電子式 ・空気式 追記事項																																																																																															
2. 使用機材 設備機材等指定表によるほか同等品以上とする。但し、同等品以上とする場合は監督員の承認を受ける。				工事区分										【特記事項】 電気配線及び配管類の事前確認を行い、必要に応じて適切な防護措置を行うこと。																																																																																															
3. 届出・手続等 この工事に関係する法律・政令・条例等に必要な届出・手続きなど請負者が代行して行い、これに要する費用はすべて請負者の負担とする。				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項</th> <th>目</th> <th>建築</th> <th>空調</th> <th>衛生</th> <th>電気</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1) 防火区画貫通部の配管は、建築基準施工令第129条2の5及び国土交通省告示第1422号に基づき施工する。</td> <td>給水負担金</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下水負担金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2) 耐震設備は、「建築設備耐震設計・施工指針」によること。</td> <td>水道本管接続費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下水本管接続費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3) ガス配管は、告示第1099号に準ずる。</td> <td>受水槽・高架水槽の架台及びコンクリート基礎</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>既設実習台・流し等の撤去工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4) 受水槽・高架水槽は所定の耐震性能を有するものとし基礎は躯体と一体構造とする。また、オーバーフロー管には防虫網を設置する。</td> <td>雨水堅樋工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ユニットバス・水槽・流し台の供給据付工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5) 換気ダクトは、不燃材料とする。</td> <td>屋外ウッドデッキ撤去・復旧工事(配管ルート)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備機器用の上屋築造工事(ポンプ・ポンペ等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6) 共存区画の貫通については、安全センターの評定品を使用する。</td> <td>動力操作盤までの一次配線工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>動力操作盤までの二次配線工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>既設コンクリート土間及び壁の研り・復旧工事</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										項	目	建築	空調	衛生	電気	その他	1) 防火区画貫通部の配管は、建築基準施工令第129条2の5及び国土交通省告示第1422号に基づき施工する。	給水負担金	○					下水負担金						2) 耐震設備は、「建築設備耐震設計・施工指針」によること。	水道本管接続費						下水本管接続費						3) ガス配管は、告示第1099号に準ずる。	受水槽・高架水槽の架台及びコンクリート基礎						既設実習台・流し等の撤去工事						4) 受水槽・高架水槽は所定の耐震性能を有するものとし基礎は躯体と一体構造とする。また、オーバーフロー管には防虫網を設置する。	雨水堅樋工事						ユニットバス・水槽・流し台の供給据付工事						5) 換気ダクトは、不燃材料とする。	屋外ウッドデッキ撤去・復旧工事(配管ルート)						設備機器用の上屋築造工事(ポンプ・ポンペ等)						6) 共存区画の貫通については、安全センターの評定品を使用する。	動力操作盤までの一次配線工事						動力操作盤までの二次配線工事					○		既設コンクリート土間及び壁の研り・復旧工事	○								
項	目	建築	空調	衛生	電気	その他																																																																																																							
1) 防火区画貫通部の配管は、建築基準施工令第129条2の5及び国土交通省告示第1422号に基づき施工する。	給水負担金	○																																																																																																											
	下水負担金																																																																																																												
2) 耐震設備は、「建築設備耐震設計・施工指針」によること。	水道本管接続費																																																																																																												
	下水本管接続費																																																																																																												
3) ガス配管は、告示第1099号に準ずる。	受水槽・高架水槽の架台及びコンクリート基礎																																																																																																												
	既設実習台・流し等の撤去工事																																																																																																												
4) 受水槽・高架水槽は所定の耐震性能を有するものとし基礎は躯体と一体構造とする。また、オーバーフロー管には防虫網を設置する。	雨水堅樋工事																																																																																																												
	ユニットバス・水槽・流し台の供給据付工事																																																																																																												
5) 換気ダクトは、不燃材料とする。	屋外ウッドデッキ撤去・復旧工事(配管ルート)																																																																																																												
	設備機器用の上屋築造工事(ポンプ・ポンペ等)																																																																																																												
6) 共存区画の貫通については、安全センターの評定品を使用する。	動力操作盤までの一次配線工事																																																																																																												
	動力操作盤までの二次配線工事					○																																																																																																							
	既設コンクリート土間及び壁の研り・復旧工事	○																																																																																																											
4. 関連法規 1) 防火区画貫通部の配管は、建築基準施工令第129条2の5及び国土交通省告示第1422号に基づき施工する。 2) 耐震設備は、「建築設備耐震設計・施工指針」によること。 3) ガス配管は、告示第1099号に準ずる。 4) 受水槽・高架水槽は所定の耐震性能を有するものとし基礎は躯体と一体構造とする。また、オーバーフロー管には防虫網を設置する。 5) 換気ダクトは、不燃材料とする。 6) 共存区画の貫通については、安全センターの評定品を使用する。																																																																																																													



美しく輝く 里山共生都市
庄原市
 SHOBARA CITY

令和6年度
 施行

工事名称 かさべるでトイレ洋式化工事	縮尺 N.S	図面番号 M-01
図面名称 特記仕様書(機械設備工事)	日付 R6.4	



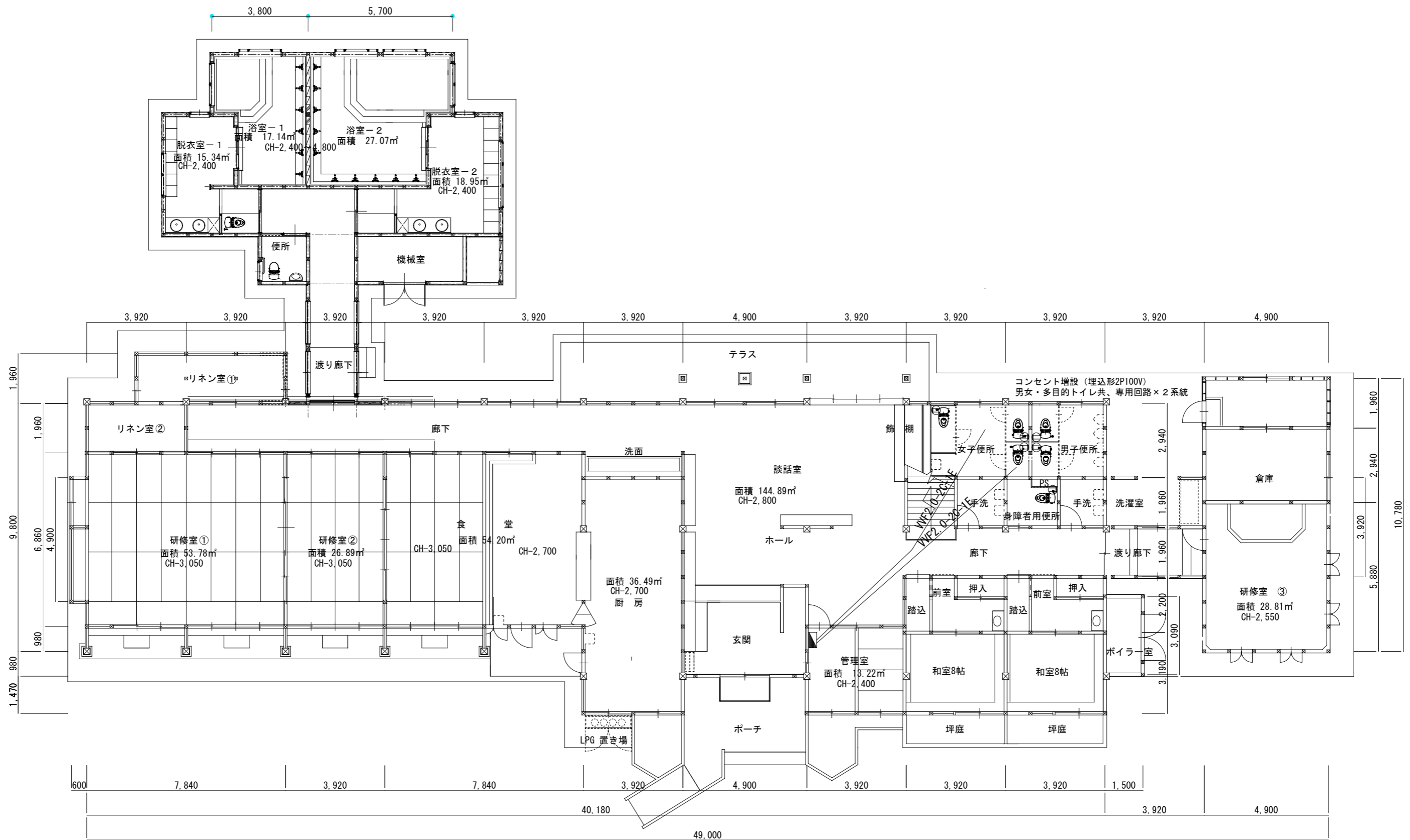
既設パーテーション撤去・新設
 洋式便器 参考品番: CS597BMS 4.0台
 ローターンク 参考品番: SH596BAYR 4.0台
 シャワー便座 参考品番: TCF5840AUP 4.0台

パーテーション・ドア移動 奥行き1200以上
 洋式便器 参考品番: CS597BMS 1.0台
 ローターンク 参考品番: SH596BAYR 1.0台
 シャワー便座 参考品番: TCF5840AUP 1.0台

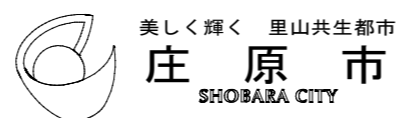
洋式便器 参考品番: CS597BMS 1.0台
 ローターンク 参考品番: SH596BAYR 1.0台
 シャワー便座 参考品番: TCF5840AUP 1.0台

1階平面図 1:150

	 美しく輝く 里山共生都市 庄原市 SHOBARA CITY	工事名称 かさべるでトイレ洋式化工事	縮尺 1/150	図面番号 M-03
		図面名称 1階平面図	日付 R6.4	



1階平面図 1:150



工事名称
かさべるでトイレ洋式化工事

図面名称
1階平面図（電気設備）

縮尺
1/150

日付
R6.4

図面番号
E-01